

## 令和4年度第3学期始業式 校長講話

あけましておめでとうございます。新年にかけての冬休み、寒さが厳しい毎日でしたが、皆さんは元気に過ごすことができたことと思います。

私は毎日通勤時に新聞を読んで、よい話や言葉があると切り抜いて保存しています。今日ご紹介するのも、朝日新聞の「折々のことば」というコラムに載っていた言葉です。

1つ目は「自分、飛ぶんやろ？飛行機は向かい風を受けて高〜く飛ぶんや」です。NHKの連続テレビ小説『舞い上がれ！』の主人公舞が、大学で人力飛行機のクラブに入りました。ある時、代役で操縦士を任せられることになりました。飛行距離は操縦士の体重と脚力にかかっているため過酷な減量とトレーニングを繰り返しますが、途中でくじけそうになりました。その時先輩からかけられた「ことば」が「向かい風を受けて高く飛ぶ」というものでした。これは広く私たちの人生全般にも当てはめることができることばで、逆風を取り込んで浮力に変えることが人の強さ、しなやかさであることを表しています。

2つ目は「人の身体は、転ばないようにではなく、うまく転ぶように作られていく」です。これは、昨年亡くなった法哲学者の那須耕介さんという方の「ことば」です。赤ちゃんは歩けるようになるまでにさんざん転ぶが、やがて、転びかけるととっさに手をついたり身体をひねったりして衝撃を和らげるようになる。これは、柔道の受け身につながるものですね。筆者は、歩けるということが上手な転び方をわきまえていることであることと同様に、感情を豊かで安定したものにするためにも「感情の受け身」を習得することが大事であると訴えています。

新年を迎えましたが、3年生の多くの皆さんは受験間近で、追い込みの勉強に励んで苦しいことも多いでしょう。1年、2年生の皆さんも、生活を送る中で楽しいことばかりではないでしょう。そんな時、今日のお話を思い出して、「失敗してもいい、それをうまく利用して頑張るんだ」という気持ちになってくれたらいいと思います。

3学期は、3年生の卒業式や1、2年生の合唱祭など大きな行事が予定されています。ただし、感染症はまだまだ収まっていません。引き続きマスク着用等感染症への対策を徹底しつつ、1年間の締めくくりを行いましょう。